

週数	週数月日	妊婦一般健診	検査	検査概要	備考
12週	6月24日	体重、血圧、尿検査、むくみのチェック、超音波検査など。	・妊娠初期血液検査（血液一般検査、血糖値、血液型、風疹、B型肝炎、C型肝炎、梅毒、HIV抗体、	妊娠初期に必要な基本的検査です。	♣ 予定日決定後、各市町村にて母子健康手帳をもらって下さい。 ♣ 妊娠中期以降は血液中の水分量が増えるために貧血になり易くなります。
16週	7月22日	”	・染色体異常のスクリーニング（希望者のみ） （15-17週 クアトロテスト、18-19週 羊水検査） ・クラミジア検査 ・細胞診 ・心電図	染色体異常のスクリーニング、診断の検査です。希望者のみ行います。 母児感染予防のため、クラミジア検査を行います。	
20週	8月19日	”	・超音波胎児スクリーニング（第1回） ・血液一般検査	19週～21週で超音波胎児スクリーニング（第1回）を行います。	また、子宮が大きくなるにつれ、頻尿、便秘、腰痛、むくみの症状も出易くなります。
24週	9月16日	”	・貧血、血糖検査	貧血の検査はおよそ2カ月に1度行います。 サイトメガロウイルス抗体、トキソプラズマ抗体検査などは希望、または必要な方に行い	
26週	9月30日	”			♣ 妊娠中期から末期になると、妊娠高血圧症候群の症状（高血圧、蛋白尿）が出易くなります。体調の変化に注意しましょう。
28週	10月14日	”	・超音波胎児スクリーニング（第2回）	28週～31週で超音波胎児スクリーニング（第2回）を行います。	
30週	10月28日	”	・NST	子宮の収縮を確認します。	♣ そろそろ出産の準備をしましょう。
32週	11月11日	”	・GBS	母児感染予防のため、GBS（B群溶連菌）の検査を行います。	
34週	11月25日	”	・超音波胎児スクリーニング（第3回）	必要のある方のみ行います。	♣ 妊娠初期検査で風疹抗体価が低かった方は、産後に風疹ワクチンの接種を行いましょう。
36週	12月9日	”			
37週	12月16日	37週以降は、妊婦一般健診に加え毎回内診があります。	・NST	子宮の収縮と赤ちゃんの状態を確認します。 異常の早期発見に役立ちます。	♣ 妊娠初期検査で風疹抗体価が低かった方は、産後に風疹ワクチンの接種を行いましょう。
38週	12月23日	”	・NST	内診による産道のチェックで、お産が近づいてきたかどうかを確認します。	
39週	12月30日	”	・NST	◆分娩兆候（陣痛、おしるし、破水）が現れたら病院に連絡して下さい。	
40週	1月6日	”	・NST		
産後 2週間	1週間健診	体重、血圧、尿検査、むくみ、など。		初産婦、帝王切開の場合、退院後1週間の様子を見ます。	
産後 1ヶ月	1ヶ月健診	体重、血圧、尿検査、むくみ、など。	・超音波	子宮の回復を確認します。	